

科目名	論理国語		
講座名	論理国語		
履修年次	2年次	文理別	理
単位数	1単位	履修区分	2理全員
<履修条件> (必修科目が履修条件になっている場合は省略) 2,3年次継続履修			
<講座内容> ・実社会に必要な国語の知識や技能を習得する。 ・様々な文章を読解することを通して、論理的及び批判的に考える力を習得し、創造的に考える活動を経て、自身の思考力や表現力を高める。 ・文章に含まれる情報の重要度や抽象度によって階層化して整理する方法や推論の方法等を理解し、文章を論理的に読むための読解力を習得する。 ・学術的な文章等を基に自身の考えを書いたり、人間や社会自然等の異なる論点や価値観を結び付けたりすることで、自身の言語感覚を磨く。 ・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる習慣を身に付け、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深める。			
<履修上の注意>			

科目名	文学概論(学)		
講座名	文学概論		
履修年次	2年次	文理別	理
単位数	1単位	履修区分	2理全員
<履修条件> (必修科目が履修条件になっている場合は省略)			
<講座内容> ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を習得し、我が国の言語文化に対する理解を深める。 ・様々な文章を読解することを通して、深く共感したり想像したりする力を養い、自分自身や他の世界に対する豊かな感受性や情緒を育む。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やしたり使ったりする活動等を通して、語感を磨き、我が国の言語文化の創造に寄与する態度を養う。 ・文学作品の内容や形式を踏まえ、書評を書いたり、他者への紹介文をまとめたりすることで、豊かな表現力や読解力を習得する。 ・ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書習慣を身に付け、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深める。			
<履修上の注意>			

科目名	古典探究		
講座名	古典探究		
履修年次	2年次	文理別	理
単位数	3単位	履修区分	2理全員
<履修条件> (必修科目が履修条件になっている場合は省略) 2,3年次継続履修			
<講座内容> ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を習得し、我が国の言語文化に対する理解を深める。 ・古文、漢文の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・文語や訓読のきまりについて理解を深め、正しい解釈の仕方を身に付けることで、先人のものの見方や考え方を理解する。 ・現代と比較しながら古文や漢文を読むことで、言語や文化の変遷について理解を深め、我が国の文化や価値観の特質について理解を深める。			
<履修上の注意>			

科目名	公共		
講座名	公共		
履修年次	2年次	文理別	理
単位数	2単位	履修区分	2理全員
＜履修条件＞（必修科目が履修条件になっている場合は省略）			
＜講座内容＞ A 公共の扉 古今東西の先人の取組、知恵、社会に参画する際に選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、公共的空間における基本原理を理解します。 B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 法、政治及び経済などに関わるシステムの下で活動するために必要な知識・技能・思考力・判断力・表現力を身につけます。 C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち 持続可能な地域、国家・社会、及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることを目指します。			
＜履修上の注意＞			

科目名	数学Ⅱ		
講座名	数学Ⅱ		
履修年次	2年次	文理別	理
単位数	3単位	履修区分	2理全員
＜履修条件＞（必修科目が履修条件になっている場合は省略）			
1,2年継続履修			
＜講座内容＞ 「第5章 微分と積分」では、微分係数と導関数、導関数の応用、積分について学習する。			
＜履修上の注意＞			

科目名	数学Ⅲ		
講座名	数学Ⅲ		
履修年次	2年次	文理別	理
単位数	1単位	履修区分	2理全員
＜履修条件＞（必修科目が履修条件になっている場合は省略）			
「数学Ⅱ」履修後に履修 ・2,3年継続履修			
＜講座内容＞ 「第1章 極限」では、無限数列、無限級数について学習する。 「第2章 微分法」では、いろいろな関数の微分と導関数について学習する。 「第3章 積分法」では、不定積分、定積分、面積、体積について学習する。			
＜履修上の注意＞			

科目名	数学B		
講座名	数学B		
履修年次	2年次	文理別	理
単位数	2単位	履修区分	2理全員
＜履修条件＞（必修科目が履修条件になっている場合は省略）			
＜講座内容＞ 「第1章 数列」では、等差数列・等比数列、いろいろな数列、漸化式と数学的帰納法について学習する。 「第2章 統計的な推測」では、確率分布や標本調査について学習する。			
＜履修上の注意＞			

科目名	数学C		
講座名	数学C		
履修年次	2年次	文理別	理
単位数	1単位	履修区分	2理全員
＜履修条件＞（必修科目が履修条件になっている場合は省略）			
2,3年継続履修			
＜講座内容＞ 「第1章 ベクトル」では、ベクトルの性質とその演算、ベクトルと図形について学習する。 「第2章 平面上の曲線と複素数平面」では、2次曲線と複素数平面について学習する。			
＜履修上の注意＞			

科目名	化学基礎		
講座名	化学基礎		
履修年次	2年次	文理別	理
単位数	2単位	履修区分	2理全員
＜履修条件＞（必修科目が履修条件になっている場合は省略）			
＜講座内容＞ 1.「第1編 物質の構成と化学結合」では、生活の中の化学や物質の状態や物質の構成粒子と化学結合について学習する。 2.「第2編 物質の変化」では物質質量、酸と塩基、酸化と還元について学習する。			
＜履修上の注意＞			

科目名	化学		
講座名	化学		
履修年次	2年次	文理別	理
単位数	2単位	履修区分	2理全員
<履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略) 「化学基礎」履修後に履修 ・2,3年継続履修			
<講座内容> 1.「第1編 物質の状態」では、物質の状態と変化、溶液の平衡などについて学習する。 2.「第2編 物質の変化」では、化学反応とエネルギー、化学反応と化学平衡について学習する。 3.「第3編 無機物質」では、無機物質や無機物質と人間生活について学習する。			
<履修上の注意>			

科目名	物理		
講座名	※物理		
履修年次	2年次	文理別	理
単位数	3単位	履修区分	2理選
<履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略) 2,3年継続履修			
<講座内容> 1. 力学…①剛体 ②物体の運動 ③運動量と力積 ④円運動 ⑤単振動 ⑥万有引力 2. 熱力学…①気体の法則と分子運動 ②熱量と仕事 3. 波動…①ドップラー効果 ②波の性質 ③レンズ ④波の式 ⑤干渉			
<履修上の注意>			

科目名	生物		
講座名	※生物		
履修年次	2年次	文理別	理
単位数	3単位	履修区分	2理選
<履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略) 2,3年継続履修			
<講座内容> 1. 生物の進化……………①生物の進化 2. 生命現象と物質……………①細胞と分子 ②代謝 3. 遺伝情報の発現と発生……………①遺伝情報の発現と発生 ※4. 生物の環境応答、5. 生態と環境は、3年次に学習します。 ・観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解します。 ・「生物基礎」と関連させ、生物や生物現象を更に広範囲に取り扱い、生物学的に探究する能力と態度を身に付けます。			
<履修上の注意>			

科目名	体育		
講座名	体育		
履修年次	2年次	文理別	理
単位数	2単位	履修区分	2理全員
<履修条件> (必履修科目が履修条件になっている場合は省略)			
<講座内容> 男女必修種目: バレーボール、陸上競技(長距離走)、体づくり運動、体育理論(6時間) コース別選択種目 男子 ①テニス、ソフトボール、バスケットボール ②卓球、バドミントン、サッカー 女子 ①ソフトボール、ダンス、バドミントン ②バスケットボール、テニス、サッカー ※男女とも①or②を選択			
<履修上の注意>			

科目名	保健		
講座名	保健		
履修年次	2年次	文理別	理
単位数	1単位	履修区分	2理全員
<履修条件> (必修科目が履修条件になっている場合は省略)			
<講座内容> 第3単元 生涯を通じる健康 思春期と健康、結婚・妊娠・出産と健康、加齢と健康、働くことと健康 など全10項目 第4単元 健康を支える環境づくり 環境汚染等の環境汚染と環境対策、食品の安全、医療・保健制度、医薬品の制度 など全11項目			
<履修上の注意>			

科目名	英語コミュニケーションⅡ		
講座名	英語コミュニケーションⅡ		
履修年次	2年次	文理別	理
単位数	4単位	履修区分	2理全員
<履修条件>（必修科目が履修条件になっている場合は省略）			
<講座内容> 幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える4技能を更に伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。また、言語材料から環境保護や人権尊重等の道徳心も養う。			
<履修上の注意>			

科目名	論理・表現Ⅱ		
講座名	論理・表現Ⅱ		
履修年次	2年次	文理別	理
単位数	2単位	履修区分	2理全員
＜履修条件＞（必修科目が履修条件になっている場合は省略）			
＜講座内容＞ 論理表現Ⅰでの学習を踏まえ、英語による表現力を伸ばす。聞いたり読んだりした内容をもとに、概要を的確にまとめたり、自分の意見を表現したりする。個人での活動のみならずペアワークやグループワークの形態で言語活動を行う。表現活動の基礎となる文法学習も重視する。			
＜履修上の注意＞			